

第37期

株 主 通 信

( 中 間 報 告 )

平成18年4月1日から  
平成18年9月30日まで

 元旦ビューティ工業株式会社

 (証券コード 5935)

# ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げますとともに、当社第37期の中間期（平成18年4月1日より平成18年9月30日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当上半期におけるわが国の経済は、個人消費や民間投資の好調さを背景に、景気は総じて堅調に推移しておりますが、建設業界においては公共投資の減少や素材価格の高騰などから、厳しい市場環境が続いております。

当社はこのような厳しい状況の中で、今期目標を達成すべく期初に掲げた重要課題を実践いたしております。

本年度から新たに参入しましたシート防水事業につきましては、事業の拡大に向けて受注体制を確立し目下事業推進中であります。9月には第一号物件が完工し、現在も数多くの案件において交渉中であります。今後は、建物の屋上などの陸屋根市場への営業を強化し、売上の拡大に努めてまいります。

一方、昨年に発売を開始いたしました新型横葺屋根「元旦スプリングルーフ-850」は、台風による被害を軽減する屋根として広く認知して頂けるようになりました。また、これまでの横葺屋根につきましてもお客様の要望に応えるべく同様のハゼ形状を採用した新型製品にフルモデルチェンジを行い、この上半期に市場へ投入いたしました。いずれも従来の製品と比べて防水性能と耐風圧性能が格段に向上しており、今後における当社の新たな主力製品になるものと確信いたしております。また、縦葺屋根、ソーラー屋根、折板屋根につきましても、モデルチェンジに向けて開発を推進いたしております。

当社はこうした新規事業・新製品を新たに加えて取引を推進しております。民間物件に関しましても受注拡大を図るために、商社を通じた販路の拡大に努め、商用店舗をはじめ工場、倉庫の新築・改修案件を中心に積極的な営業展開を図ってまいります。

これらの営業展開に加えて、社員教育のさらなる充実を図ってまいります。さらに事業活動に不可欠な法令順守、内部統制の徹底を図り、企業競争力と企業価値を高めることにより、当社の経営方針であるお客様、株主様及び従業員の満足度の向上と安定的な配当、企業の継続性確立を目指してまいります。

株主の皆様には今後ともなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

代表取締役社長 **榎本元旦**

# 営業の概況

当上半期におけるわが国経済は、原油価格や鋼材価格の高騰など懸念材料はあるものの、企業収益の改善や設備投資などにより、景気は回復傾向にあります。しかし、建設業界においては、民間の設備投資は回復傾向にあるものの、公共投資の減少傾向などから、依然として厳しい市場環境が続いております。

このような状況の中で、当社は前期の利益体質を維持するとともに、高機能屋根製品の開発、民間物件の受注拡大、新規事業であるシート防水事業への参入に努めてまいりました。当上半期の業績状況としては、ほぼ期初の計画通り推移しております。

この結果、当中間期の売上高は2,866百万円（前年同期比1.8%増）となりました。その内訳は製品売上高が1,580百万円（前年同期比15.4%減）、請負工事高が1,286百万円（前年同期比36.0%増）となりました。また、損益面においては、原材料の値上げの影響などにより、経常損失は72百万円（前年中間期は経常損失36百万円）、中間純損失は76百万円（前年中間期は中間純損失62百万円）となりました。

## 営業成績及び財産の状況の推移

区 分	第34期	第35期	第36期	第37期中間期
	（平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで）	（平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで）	（平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで）	（平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで）
売 上 高 (千円)	8,425,386	7,386,577	7,006,620	2,866,637
経 常 利 益 (千円)	106,446	136,067	326,866	72,999
当 期 純 利 益 (千円)	123,842	2,514,958	288,415	76,432
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	16.08	326.93	37.51	9.94
総 資 産 額 (千円)	11,537,658	6,358,192	6,302,908	6,448,280
純 資 産 額 (千円)	3,349,904	818,064	1,100,733	1,024,143

(注) 第35期は「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用及び遊休土地建物の売却等による特別損失を2,699百万円計上したことにより、当期純利益は2,514百万円となりました。

# 中間貸借対照表（平成18年9月30日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	(2,952,804)	流動負債	(3,398,309)
現金及び預金	287,438	支払手形	1,017,556
受取手形	521,074	買掛金	271,954
売掛金	608,924	工事未払金	280,545
完成工事未収入金	417,252	短期借入金	1,416,508
たな卸資産	910,387	未払法人税等	17,630
その他流動資産	215,386	製品保証引当金	37,417
貸倒引当金	7,659	その他流動負債	356,697
固定資産	(3,495,475)	固定負債	(2,025,827)
有形固定資産	(3,242,153)	長期借入金	1,720,204
建物	872,050	退職給付引当金	282,795
機械装置	421,315	その他固定負債	22,827
土地	1,801,976	負債合計	5,424,136
その他有形固定資産	146,811	純資産の部	
無形固定資産	(26,304)	株主資本	(1,024,032)
投資その他の資産	(227,018)	資本金	(1,266,921)
投資有価証券	95,814	利益剰余金	(229,976)
その他投資等	330,026	繰越利益剰余金	229,976
貸倒引当金	198,823	自己株式	(12,911)
資産合計	6,448,280	評価・換算差額等	(110)
		その他有価証券評価差額金	110
		純資産合計	1,024,143
		負債及び純資産合計	6,448,280

（注）１．中間貸借対照表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

- ２．有形固定資産の減価償却累計額 5,378,686千円
- ３．中間貸借対照表に計上した固定資産のほか、屋根製品及び木毛板製造設備の一部並びに電子計算機等については、リース契約により使用しております。
- ４．担保に供している資産 3,098,557千円
- ５．受取手形割引高 653,513千円

# 中間損益計算書 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		2,866,637
売 上 原 価		1,987,117
売 上 総 利 益		879,520
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		905,375
営 業 損 失		25,854
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	359	
そ の 他 営 業 外 収 益	8,683	9,042
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	42,587	
そ の 他 営 業 外 費 用	13,600	56,187
経 常 損 失		72,999
特 別 利 益		
貸 倒 引 当 金 戻 入 額		20,140
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 額	3,323	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	7,751	11,075
税 引 前 中 間 純 損 失		63,934
住 民 税		12,497
中 間 純 損 失		76,432

(注) 1. 中間損益計算書の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たり中間純損失

9円94銭

# 重要な会計方針

## 中間財務諸表作成の基本となる重要な事項

### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

#### その他有価証券

時価のあるもの.....	当中間期末の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）
時価のないもの.....	移動平均法に基づく原価法

### 2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法

デリバティブ.....	時価法
-------------	-----

### 3. たな卸資産の評価基準及び評価方法

製品、原材料及び仕掛品.....	総平均法に基づく原価法
未成工事支出金.....	個別法に基づく原価法

### 4. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産.....	定率法 但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く。）については定額法 主な耐用年数 建 物 15～38年 機 械 装 置 12年
無形固定資産.....	定額法 主な耐用年数 自社利用のソフトウェア 5年 （社内における利用可能期間）
長期前払費用.....	均等償却 主な償却年数 5年

### 5. 引当金の計上基準

貸倒引当金.....	債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更生債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
製品保証引当金.....	製品販売後の無償補修費用の支出に充てるため、当中間期末に至る1年間の売上高に過去の実績率を乗じた額を計上しております。
退職給付引当金.....	従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間期末において発生していると認められる額を計上しております。 数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により発生事業年度の翌事業年度から費用処理することとしております。

#### 6. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

#### 7. ヘッジ会計の方法

長期借入金の一部について、取締役会決議に基づき将来の金利上昇リスクを軽減する目的で金利スワップ取引及び金利キャップ取引を行っております。当該デリバティブ取引については、財務部が実行管理を行い、金利スワップ取引については、特例処理（金利スワップを時価評価せずに当該金利スワップに係る金銭の受払の純額を金利変換の対象となる負債に係る利息に加減する方法）を採用しております。また、ヘッジの有効性評価について、金利キャップ取引に関しては、ヘッジ対象とヘッジ手段の想定元本、契約条件等により評価しております。なお、特例処理の要件を満たす金利スワップ取引については、有効性の評価を省略しております。

#### 8. 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

なお、仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「その他流動負債」に含めて表示しております。

#### 会計方針の変更

（貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等）

当中間期より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号 平成17年12月9日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日）を適用しております。

従来の資本の部の合計に相当する金額は、1,024,143千円であります。

なお、当中間期における中間貸借対照表の純資産の部については、中間財務諸表等規則の改正に伴い、改正後の中間財務諸表等規則により作成しております。

## 株式の状況 (平成18年9月30日現在)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 29,160,000株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 7,716,063株  |
| (3) 単元株式数    | 1,000株      |
| (4) 株主数      | 488名        |
| (5) 新株予約権の状況 |             |

新株予約権	新株予約権の数	目的となる株式の種類及び数	発行価額
新株予約権 (平成14年8月1日発行)	69個	普通株式 69,000株	無償

### (6) 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資の状況		当社の当該大株主への出資の状況	
	持株数	議決権比率	持株数	出資比率
船木元旦	1,986千株	26.0%	千株	%
船木商事(有)	724	9.4		
船木清子	631	8.2		
全国元旦代理店 持株会	342	4.4		
関東甲信越 元旦会持株会	318	4.1		
元旦ピューティ工業 従業員持株会	310	4.0		
日鉄鋼板(株)	251	3.2		
元旦取引先 持株会	246	3.2		
東北北海道 元旦会持株会	187	2.4		
(株)横浜銀行	165	2.1		

## 取締役及び監査役 (平成18年9月30日現在)

会社における地位	氏名	担当又は主な職業
代表取締役社長	船木元旦	
専務取締役	船木亮亮	営業本部長
常務取締役	成田修一	技術指導部長
取締役	山坂昇	営業本部システム推進室長兼サーナルーフ課長
常勤監査役	長島隆夫	
監査役	早川治子	弁護士
監査役	沢和宏	

- (注) 1. 取締役 澤本猪三雄氏は平成18年6月29日をもって任期満了により退任いたしました。
2. 監査役 早川治子、沢和宏の両氏は「会社法」第2条第16号に定める社外監査役であります。

# 会社の概況 (平成18年9月30日現在)

## 1. 主要な事業内容

- (1) 金属屋根製品等の製造販売及び設計施工の請負
- (2) 太陽光・風力発電システム、屋上緑化システムの製造販売及び設計施工の請負
- (3) マイナスイオン発生塗料製品の販売及び塗装施工の請負
- (4) シート防水の製造・販売及び設計施工の請負

## 2. 当社の主要製品

形 体	品 名	用 途 等
金属横葺屋根製品	ダンカクルーフ260・345 元旦スプリングルーフ-850・800	大型鉄骨・RC建築用 屋根材
	ダンツキルーフ182・240 元旦一文字S 断熱ビューティルーフ、マーブルーフ GF-182	鉄骨・RC・木造建築用 屋根材
金属縦葺屋根製品	スフィンクスルーフ1・2・3・6・10型 元旦TRX	大型構造物用屋根材 瓦棒改修屋根材
	マツラールーフ3・7・8型	平滑屋根材
その他屋根製品	元旦コ鋼システム	マイナスイオン発生・ 高断熱屋根システム
	本瓦棒元旦'84、本瓦棒元旦	銅板専用屋根材
	ビューティルーフL-100・L-200 元旦折板G-170	完全嵌合式屋根材
	バリヤルーフ	波形スレート改修屋根材
樹脂モルタル製品	スーパーGX 接着王(一般店頭販売用コンクリート接着剤)	樹脂モルタル
	ハリーフレッシュ元旦	コンクリート梁補修用樹脂モルタル
リサイクル製品	エコクリスタルシリーズ (廃ガラス等利用タイル・ブロック)	透水性舗道用ブロック・ 内外壁材・床材
マイナスイオン 発生塗料製品	滝つば、せせらぎ	マイナスイオン発生塗料
	安眠用シートせせらぎ 安眠用マットせせらぎ せせらぎモア	マイナスイオン発生寝具
	イオン爽行 せせらぎ	車内リフレッシュ用品 内装用マイナスイオン発生壁紙
太陽光・風力 発電製品	ダンカクソーラールーフ ノンシャドウソーラー マツラールーフ サンビューティルーフ サンシステム元旦	太陽電池一体型屋根  住宅用太陽電池一体型屋根 太陽光発電・太陽光温水システム一体型
	風力発電システム 風光明媚	ハイブリッド型照明灯
	その他製品	元旦サーナールーフ ジャパラルーフ 元旦ボード・滝つば元旦ボード 元禄 テクノトラス

### 3. 主要な事業所

本 社	神奈川県藤沢市湘南台1丁目1番地21
支 店	東京・大阪・中部・神奈川・東北・福岡
営 業 所	北海道・盛岡・福島・新潟・北陸・高崎・北関東・千葉・埼玉 ・西東京・甲信・京都・岡山・広島・四国・南九州
事 務 所	沖縄
工 場	山梨・岡山・福島
そ の 他	白州技術センター

## トピックス

### 「元旦スプリングルーフ-800」を新発売

前年度に発売いたしました「元旦スプリングルーフ-850」のご好評に伴い、「元旦スプリングルーフ」のラインナップを拡充し、「元旦スプリングルーフ-800」を新発売いたしました。

「元旦スプリングルーフ-800」は、主力製品として販売しております「ダンツキルーフ240」のハゼ部分に、「元旦スプリングルーフ-850」と同じ3点固定のスプリングバックハゼ構造( )を採用し、耐風圧性能と防水性能を向上させた新製品です。これにより耐風圧性能において、800kg/m<sup>2</sup>以上の強度を発揮し(社内試験)、台風等の災害リスク軽減に貢献する製品となっています。

スプリングバックとは、加えられた力に対し形状回復しようとする現象で、パネなどに応用されています。当社の「スプリングバックハゼ」は、この現象を利用して横葺屋根のハゼの結合性を高めるとともに、空気層により毛細管現象を防ぐ、耐風圧性能と防水性能に優れたハゼ形状です。

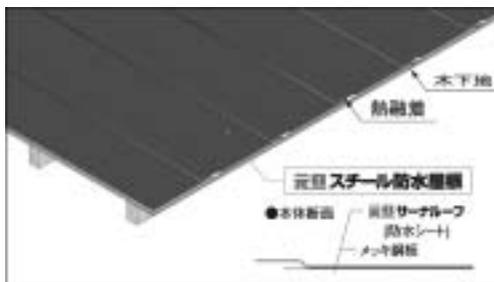
## 「元旦サーナルーフ」発売開始

当社は、「サーナフィル インターナショナルAG（本社：スイス連邦代表：Axel Ritzberger）」と提携し、同社が製造する高分子シート防水（塩基系・オレフィン系）「元旦サーナルーフ」の販売及び施工を国内で開始し、シート防水事業へ新たに参入いたしました。

「元旦サーナルーフ」は、「サーナフィル インターナショナルAG」が過去40年以上の歴史と、北極圏から赤道直下の国々で約3.5億㎡の実績を持つ高耐久性の高分子シート防水です。また、当社が金属屋根メーカーとして培ってきた技術に「元旦サーナルーフ」を組み合わせることにより、新しい防水屋根「元旦スチール防水屋根」を開発・販売してまいります。

「元旦スチール防水屋根」は、金属板に「元旦サーナルーフ」をラミネートした屋根材で、重ね接合部を熱融着で繋げるため、屋根全体が一枚の防水膜となり、緩い勾配（1/100）の屋根にも対応します。屋根勾配を緩くすることで建物のデザインは大きく変わり、例えば、2階建ての木造住宅で2階部分に大きな「はき出し窓」をつくることができます。また、ベランダ・テラスなどのユーティリティスペースを提供することも可能となります。

この「元旦サーナルーフ」「元旦スチール防水屋根」を新しい柱とし、新たな事業展開を実施してまいります。



## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会関係 3月31日 その他、必要があるときには、あらかじめ公告する 一定の日
公告方法	電子公告（当社ホームページに掲載します。） <a href="http://www.gantan.co.jp/ir/index.html">http://www.gantan.co.jp/ir/index.html</a> ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に掲載します。
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 （および） 電話連絡先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-707-696（フリーダイヤル）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店



GANTAN BEAUTY INDUSTRY CO., LTD.

本社 〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台1丁目1番地21

TEL. (0466) 45-8771 FAX. (0466) 45-3031

URL : <http://www.gantan.co.jp>